

議案第 54 号

令和 2 年度木津川市一般会計補正予算第 7 号について

令和 2 年度木津川市一般会計補正予算第 7 号を別紙のとおり提出する。

令和 2 年 10 月 28 日提出

木津川市長 河井 規子

令和 2 年度

一般会計補正予算第 7 号

京 都 府 木 津 川 市

令和２年度 木津川市一般会計補正予算第７号

令和２年度木津川市の一般会計補正予算第７号は、次に定めるところによる。

（歳入歳出予算の補正）

第１条 歳入歳出予算の総額に歳入歳出それぞれ２５，３０１千円を追加し、歳入歳出予算の総額を歳入歳出それぞれ３７，７６０，３３６千円とする。

２ 歳入歳出予算の補正の款項の区分及び当該区分ごとの金額並びに補正後の歳入歳出予算の金額は、「第１表 歳入歳出予算補正」による。

令和２年１０月２８日提出

木津川市長 河井 規子

第 1 表 歳入歳出予算補正

歳入

款	項
15 国庫支出金	
	3 委託金
20 繰越金	
	1 繰越金
21 諸収入	
	3 雑入
歳 入 合 計	

歳出

款	項
2 総務費	
	2 徴税費
6 商工費	
	1 商工費
歳 出 合 計	

(単位:千円)

補正前の額	補正額	計
13,236,503	20,000	13,256,503
20,024	20,000	40,024
1	5,300	5,301
1	5,300	5,301
166,090	1	166,091
137,336	1	137,337
37,735,035	25,301	37,760,336

(単位:千円)

補正前の額	補正額	計
11,050,383	5,100	11,055,483
320,509	5,100	325,609
816,561	20,201	836,762
816,561	20,201	836,762
37,735,035	25,301	37,760,336

令和 2 年 度

予 算 に 関 す る 説 明 書

(一 般 会 計)

歳入歳出補正予算事項別明細書

1 総括

(歳入)

款	補正前の額
15 国庫支出金	13,236,503
20 繰越金	1
21 諸収入	166,090
歳入合計	37,735,035

(歳出)

款	補正前の額	補正額	計
2 総務費	11,050,383	5,100	11,055,483
6 商工費	816,561	20,201	836,762
歳出合計	37,735,035	25,301	37,760,336

(単位:千円)

補正額	計
20,000	13,256,503
5,300	5,301
1	166,091
25,301	37,760,336

(単位:千円)

補 正 額 の 財 源 内 訳			
特 定 財 源			一般財源
国府支出金	地 方 債	そ の 他	
0	0	0	5,100
20,000	0	1	200
20,000	0	1	5,300

2 歳入

15 款 国庫支出金 3 項 委託金

目	補正前の額	補正額	計
4 商工費委託金	0	20,000	20,000
計	20,024	20,000	40,024

20 款 繰越金 1 項 繰越金

1 繰越金	1	5,300	5,301
計	1	5,300	5,301

21 款 諸収入 3 項 雑入

1 雑入	137,336	1	137,337
計	137,336	1	137,337

(単位：千円)

節		説 明
区分	金額	
1 商工費委託金	20,000	誘客多角化等実証調査国庫委託金

1 前年度繰越金	5,300	前年度繰越金・増

3 雑入	1	文化財の宝庫磨き上げ事業入場料

3 歳出

2 款 総務費 2 項 徴税費

目	補正前の額	補正額	計	補 正 額 の 財 源 内 訳			
				特 定 財 源			一般財源
				国府支出金	地方債	その他	
2 賦課費	66,584	5,100	71,684				5,100
計	320,509	5,100	325,609	0	0	0	5,100

6 款 商工費 1 項 商工費

3 観光費	64,096	20,201	84,297	20,000		1	200
	(特定財源内訳)						
	誘客多角化等実証調査国庫委託金 文化財の宝庫磨き上げ事業入場料			20,000		1	
計	816,561	20,201	836,762	20,000	0	1	200

(単位：千円)

節		説 明	
区分	金額		
22償還金、利子及び割引料	5,100	○課税事務事業費	5,100
		過誤納還付金・増	5,100

10需用費	201	○現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費	20,201
		消耗品費	201
12委託料	20,000	観光誘客促進事業委託料	20,000

令和2年度木津川市一般会計補正予算 第7号について（概要）

総務部財政課

令和2年度補正予算第7号は、観光庁が公募した実証事業に採択された本市提案の事業費の新規計上と、新型コロナウイルス感染症の影響により法人市民税の還付実績増加等によって予算不足が生じている過誤納還付金の増額を行うものである。

予算案の主な概要

1 補正予算の規模

補正前 377億3,503万5,000円

補正額 2,530万1,000円（0.067%増）

補正後 377億6,033万6,000円

2 補正予算の内容

○現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費

20,201,000円皆増

観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業の事業採択をうけ、新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応し、観光イベント・観光資源をより安全で集客力の高いものへと磨き上げる取組みを行う。

○過誤納還付金

5,100,000円増

固定資産税や法人住民税の還付実績増加による。

令和2年度 木津川市一般会計補正予算第7号【概要】

既定予算額37,735,035千円

補正予算額25,301千円

補正後予算額37,760,336千円

歳入

款	概要		
15 国庫支出金	商工費委託金	20,000千円	誘客多角化等実証調査国庫委託金:20,000千円皆増
20 繰越金	繰越金	5,300千円	前年度繰越金:5,300千円増(5,301千円)
21 諸収入	雑入	1千円	文化財の宝庫磨き上げ事業入場料:1千円皆増

科 目	款	項	目
所	記載例 当該補正予算において、新たに予算事業名称を作成したものを「新規」とし、それ以外のものは、原則、「継続」としています。		
事			
市 総 合 計 (基 本 計 の 位 置 付 け)			
事 業 期 間	新規・継続		
予 算 額 の 概 要	本年度予算額	国庫	府 市債 その他 一般財源
補 正 前			
補 正 額			
補 正 後			
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	金額の表記は、原則として、費目ごとの補正額を記載し、()内に補正後の予算額を記載していますが、予算の用途を明確にするため、事項ごとに費目ごとの金額を記載している場合もあります。その場合は、その事項に相当する補正後の金額を()内に記載しています。		
主 な 特 定 財 源			
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	年度によって変わるものではない当該事業の基本情報を記しています。 (補正予算の特徴等を記しているものではありません。)		
市 民 参 加 の 状 況			
将 来 に わ た る 効 果 等			

科 目	款	総務費	項	徴税費	目	賦課費
所 管	総務部 税務課					
事 業	441	課税事務事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	【基本方針7 効果的・効率的な行政運営と市民に開かれたまちづくり】 政策分野17 行財政運営 施策③財政基盤の確立					
事 業 期 間				新規・継続		継続
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前	66,584					4,974 61,610
補 正 額	5,100					5,100
補 正 後	71,684					4,974 66,710
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	過誤納還付金:5,100千円増(32,600千円) ※固定資産税や法人市民税の還付実績増加による。					
主 な 特 定 財 源						
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	課税の適正化と公平化を図る。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等						

科 目	款	商工費	項	商工費	目	観光費
所 管	マチオモイ部 観光商工課					
事 業	3791	現代アートを活用した文化財の宝庫磨き上げ事業費				
市 総 合 計 画 （ 基 本 計 画 ） の 位 置 付 け	【基本方針4 人・資源・立地を活かし、未来を拓く産業のまちづくり】 政策分野8 観光交流 施策①観光振興					
事 業 期 間	令和2年度から			新規・継続		新規
予 算 額 の 概 要	本年度予算額		国庫	府	市債	その他 一般財源
補 正 前						
補 正 額	20,201		20,000			1 200
補 正 後	20,201		20,000			1 200
補 正 予 算 額 の 主 な 内 訳	消耗品費:201千円皆増、観光誘客促進事業委託料:20,000千円皆増 ※観光庁の「誘客多角化等のための魅力的な滞在コンテンツ造成」実証事業に採択されたことによる。 ※新型コロナウイルス感染症の影響で新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した着地整備と、観光イベント・観光資源をより安全で集客力の高いものへと磨き上げる取組みを行う。恭仁宮跡を舞台とした古典芸能と現代アートのコラボレーションライブや、海住山寺・神童寺・岩船寺のライトアップ等により、文化財の宝庫である本市の魅力を広く発信する。					
主 な 特 定 財 源	誘客多角化等実証調査国庫委託金:20,000千円 文化財の宝庫磨き上げ事業入場料:1千円					
政 策 を 必 要 と す る 背 景 及 び 提 案 の 経 緯	新型コロナウイルス感染症の影響により、新たな生活様式に沿った旅行スタイルに対応した着地整備を行うことが求められることから、観光イベントや観光資源を安全で集客力の高いものへと磨き上げることを目的とした、観光庁の委託により実施する実証事業。					
市 民 参 加 の 状 況						
将 来 に わ た る 効 果 等	誰もが安心して本市を訪れることができ、観光を楽しむことができる。					

議案第 5 4 号

令和 2 年度木津川市一般会計補正予算第 7 号について【補足説明】

歳入

予算書 P 6 ～ 7	3（項）、4（目）観光庁の実証事業 実施による誘客多角化等実証調査国庫 委託金 2,000 万円を新規計上。
15（款）国庫支出金	

歳出

予算書 P 8 ～ 9	2（項）、2（目）課税事務事業費で、 固定資産税や法人市民税の還付実績増 加により過誤納還付金 510 万円増 額。
2（款）総務費	
予算書 P 8 ～ 9	1（項）、3（目）で観光庁の事業採 択をうけて実施する現代アートを活用 した文化財の宝庫磨き上げ事業費とし て 2,020 万 1,000 円を新規計上。
6（款）商工費	